

教育目標 豊かな知性を育て きびしく自己をきたえ 高め合う生徒

学校課題

- 1 確かな学力の育成
- 2 人間関係や社会性の育成
- 3 生き方を問い続ける資質能力の育成
- 4 体力向上と眠育等の望ましい生活習慣の形成

学校経営方針

- 1 授業の充実（道徳を含む）
 - 2 家庭学習の習慣化
 - 3 生徒会活動の充実
- 「受信・思考・発信の聴き合い学び合う授業」を教師と生徒で創り上げるにより、学力と人間関係力を総合した人間力を高める。
 - 生活設計力と時間管理能力を高める「三点固定」運動を中核として「家庭学習の習慣化」を図る。
 - 生徒会活動等で「3つの喜び」を体感させ、自信のつく事実を積み上げることにより、次へのエネルギーと生き抜く力を高める。
 - 道徳教育とキャリア教育を充実し、社会的・職業的自立力の基盤を育てる。
- ★「3つの喜び」
- ①自分の持ち味を生かし、人の役に立つ喜び
 - ②自分たちで考え、決め成功させる喜び
 - ③仲間と協力してやり遂げる喜び

目指す生徒像：しばたかじかわの生徒

- し 思考し学び合う生徒
 ば 場と時を大切に生徒
 た 大夢を抱く生徒
 か かわりい関係をつくる生徒
 じ 自信の付く事実を積み上げる生徒
 か かけがえのない自分どう生きるかを問い続ける生徒
 わ 分らなさを大事にし考え追究する生徒

当校教育の数値目標

知

「全校体制で取り組む学力向上」

- ①授業が「分かる、できる」と答える生徒の割合を90%以上にする。
- ②すべての学年で、3教科のweb活用テストを目標点以上にする。
- ③「意欲的に授業に取り組んだ」と答える生徒の割合を90%以上にする。
- ④「家庭学習に毎日、1年生70分、2年生80分、3年生90分以上取り組んでいる」生徒の割合を80%以上にする。

徳

「豊かな心の育成」

- ①「学校が楽しく居心地がいい」と答える生徒の割合を90%以上にする。
- ②「いじめや差別はどんな理由があってもいけない」答える生徒を100%にする。
- ③「自分が役に立っていることを実感し、前向きに活動できた」と答える生徒の割合を80%以上にする。

体

「体力づくりの実践と生活習慣の改善」

- ①1学期体力テストの結果、県平均以上になる項目を60%以上にする。
- ②2学期の体力テスト結果が1学期以上になる項目を60%以上にする。（1,2年生）
- ③「21時以降に双方向通信をしない」生徒の割合を80%以上にする。
- ④「三点固定を意識して生活している」生徒の割合を80%以上にする。

PTA 共通課題「家庭学習の習慣化」

- 1 70分（1年）、80分（2年）、90分（3年）
- 2 三点固定（起床、家庭学習開始、就寝の時間）
- 3 メディア接触60分以内
- 4 21時以降双方向通信をしない
- 5 親子コミュニケーション
- 6 家庭学習プランニングタイム
- 7 生活ノート・自学ノート

保護者・地域との連携

- 「中学校は、PTA 共通課題『家庭学習の習慣化』や眠育に保護者と一緒に取り組んでいる」とする保護者の割合を80%以上にする。

学び合い5か条

- 1 人の話を互いに聴き合う
- 2 他者の意見や考えに敬意を払う
- 3 自分の考えに根拠や理由をもつ
- 4 自分言葉で表現し伝える
- 5 他の意見に反応する

課題解決に向けた努力事項

確かな学力

- ＜教科・家庭学習＞
- 「受信・思考・発信」をキーワードに個・ペア・グループ・全体など多様な学習形態や課題により、聴き合いや学び合いのよさを実感できるようにする
 - 教科の本質的学びを目指し「共有課題」と「ジャンプ課題」、「夢中と没頭」を意識した授業にする
 - 「学び合い5か条」を浸透し、一人も独りにしない「ケアの関係」を育てる
 - ICTを徐々に浸透する
 - PTA 共通課題「家庭学習の習慣化」に取り組む

豊かな心

- ＜道徳・生徒指導・特活＞
- 年間35時間の道徳授業を充実し道徳性を高め、「励ます評価」を行う。
 - 生徒会を中心とした自治活動を推進し、よりよい学校づくりに取り組む
 - 体育祭や桜加祭「合唱」等の行事を通して「3つの喜び」である「自己発揮と貢献」「自主と成功」「協力と達成」の喜びを体感することによって自信を育む
 - 「120%支え合う関係」をあらゆる活動で醸成する

健康体力・生活習慣

- ＜体力・健康教育＞
- 部活単位での基礎トレーニングの継続により、体力の向上に努める
 - 「三点固定」運動を推進する中で眠育を充実し、60分以上のメディア接触と21時以降の双方向通信をしないよう支援する。
 - ※「三点固定」は起床・家庭学習開始・就寝時間の固定

しばたの心継承プロジェクト

- ＜キャリア教育・総合＞
- 社会的・職業的自立力を育成する中で、地域の人的・物的資源を活用し「しばたの心継承プロジェクト」を推進する
 - 生き方モデルに触れ、かけがえのない自分どう生きるかを問い考える「生き方授業」を実施する
 - 1年生「農家学習」
2年生「職業学習」
3年生「上級学校訪問」を主軸とした体験活動を通して深く自らの将来の生き方等を考える
 - ＜食育・総合＞
 - 地域の食文化、産業、自然等を教材とした「食育」を推進する。
 - 機会あるたびに「自分で作る弁当」を推奨する

特別支援教育

- 生活単元やソーシャルスキル・トレーニングを推進する
- 交流学习を通して集団生活への参加能力を高める

人権教育、同和教育

- 「ひとが第一、ひとが大事」いじめや差別、偏見のない人間関係を育成する
- 同和教育の視点に立った授業を実践する

小中連携教育

- 「人間関係づくり」「学力保障」「眠育等習慣形成」における小中学校間の緊密な連携体制を強化する。
- QU を主軸に構成的グループエンカウンター等を取り入れるなど、人間関係づくりの能力を育成する